

プログラム 大会 1 日目 3 月 4 日 (土)

第 1 会場 (1 号館 2F センチュリーホール)

大会長講演 9:00～10:00

座長：埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部／がんゲノム医療科 牧野 好倫
患者に寄り添い支える地域医療連携のミライ
有限会社 つくし薬局 大塚 昌孝

理事長講演 10:45～11:45

座長：国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部 吉田 知由
2022 年における活動報告と JASPO のミライのカタチ
日本臨床腫瘍薬学会理事長／国立病院機構本部 近藤 直樹

ランチョンセミナー 1 12:00～13:00

PD-L1 陽性の非小細胞肺癌術後補助療法におけるチーム医療

座長：名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 山田 清文
LS1-1 国立がんセンター中央病院 呼吸器内科 大熊 裕介
LS1-2 国立がんセンター中央病院 薬剤部 有馬 崇充
共催：中外製薬株式会社

特別講演 1 13:15～14:15

座長：一般社団法人愛知県薬剤師会 会長 岩月 進
がん薬物療法に貢献する薬剤師の養成
名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 山田 清文

シンポジウム 1

14:30~16:30

いちからはじめる外来がん治療専門薬剤師への道！

オーガナイザー・座長：昭和大学横浜市北部病院／昭和大学 薬学部 病院薬剤学講座 縄田 修一
慶應義塾大学病院 薬剤部 櫻井 洋臣

- S1-1 日本臨床腫瘍薬学会の認定・専門制度
慶應義塾大学病院 薬剤部 櫻井 洋臣
- S1-2 外来がん治療認定薬剤師の申請に必要な症例集積のポイント
総合メディカル株式会社 下川友香理
- S1-3 外来がん治療認定薬剤師の面接試験について
国立国際医療研究センター 小室 雅人
- S1-4 がん診療病院連携研修の概要
昭和大学横浜市北部病院／昭和大学 薬学部 病院薬剤学講座 縄田 修一
- S1-5 がん診療病院連携研修中のポイント
国立病院機構九州がんセンター 薬剤部 衛藤 智章
- S1-6 外来がん治療専門薬剤師への道のり
そうごう薬局 久留米医大前店 牧原 直
認定制度委員会、実地研修委員会合同企画シンポジウム

イブニングセミナー 1

16:45~17:45

座長：公益財団法人がん研究会有明病院 薬剤部 清水 久範

- EVS1 抗がん剤調製ロボットを用いた新たな抗がん剤調製業務体制の構築
名古屋市立大学病院 薬剤部 外海 友規
共催：テルモ株式会社/ユヤマ株式会社

第2会場 (4号館 1F 白鳥ホール (北))

シンポジウム 2

9:00～10:30

高齢者のがん薬物治療と薬剤師の関り ～高齢者機能評価を薬剤師もやってみよう～

オーガナイザー・座長：独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター

臨床研究センター研究企画管理部 井上 裕貴

クオール株式会社 関東第一事業部 クオール薬局港北店 村田 勇人

S2-1 高齢者機能評価と薬剤師への期待

名古屋大学医学部附属病院 安藤 雄一

S2-2 迷う時こそ本領発揮—高齢者機能評価ツールの使いどころ—

昭和大学横浜市北部病院 薬剤部 / 昭和大学薬学部 病院薬剤学 市村 文典

S2-3 高齢者機能評価による有害事象の発現予測

福岡大学病院 薬剤部 内山 将伸

ランチョンセミナー 2

12:00～13:00

座長：名古屋市立大学 大学院薬学研究科 医療機能薬学専攻 神経薬理学分野 大澤 匡弘

LS2-1 がん悪液質に関する国際調査(GENESIS-CC)から見てきた薬剤師への期待

藤田医科大学七栗記念病院 医療技術部 薬剤課 二村 昭彦

LS2-2 取り組むことで見える新しい景色「がん悪液質治療」

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 藤井 宏典

共催：小野薬品工業株式会社

シンポジウム 3

14:30～16:30

電子処方箋時代のがん薬物療法

オーガナイザー・座長：株式会社 MediFrame 和田 敦

八尾市立病院 事務局 小枝 伸行

S3-1 電子処方箋の現状と課題～病院の立場から～

医療法人鉄蕉会 医療管理本部薬剤管理部/亀田総合病院 薬剤部 舟越 亮寛

S3-2 電子処方箋の現状と課題～薬局の立場から～

丸昌薬局 堀越 博一

S3-3 電子処方箋の現状と課題～電子カルテベンダの立場から～

富士通 Japan 株式会社 岩津 聖二

S3-4 電子処方箋の課題と今後への期待 ～薬局システムベンダーの立場から～

株式会社 EM システムズ 医療介護連携統括部長 下坪 信夫

イブニングセミナー 2

16:45～17:45

がん医療におけるトップランナーからの提言
～できる薬剤師になるために、今やるべきこと～

座長：大垣市民病院 薬剤部 吉村 知哲

EVS2-1 患者に寄り添う薬剤師でありたい～私が大切にしていること～

大垣市民病院 薬剤部 郷 真貴子

EVS2-2 がん専門薬剤師のキャリアパス～ミッションとビジョンを掲げて～

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 飯原 大穂

共催：日本化薬株式会社

第3会場 (4号館 1F 白鳥ホール (南))

シンポジウム 4

9:00～10:30

がんサバイバーシップ再考

～最幸のサバイバーシップ実現のために薬剤師ができること～

オーガナイザー・座長：アトム薬局

牧野あずみ

オーガナイザー：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 薬剤部 高原 悠子

座長：星薬科大学 実務教育研究部門

佐野 元彦

S4-1 がんサバイバーシップ概論 — cancer journey をともに歩む薬剤師の役割
りについて —

NPO 法人日本がんサバイバーシップネットワーク, 岩手医科大学, 東京慈恵会医科大学
高橋 都

S4-2 病院薬剤師が実践するサバイバーシップ支援

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 薬剤部 高原 悠子

S4-3 薬局薬剤師が実践するサバイバーシップ支援

福沢南薬局 石原 千春

S4-4 今だからこそ、サバイバーシップ！ —当事者から薬剤師に望むこと—

一般社団法人 CSR プロジェクト 桜井なおみ

Basic セミナー (がん超入門セミナー) 1

10:45～11:15

座長：自治医科大学附属病院 薬剤部 中澤 寛仁

初心者こそ聴いて欲しい！大腸がん治療

労働者健康安全機構 岡山労災病院 高取 俊和

Basic セミナー（がん超入門セミナー） 2 **11:15～11:45**

座長：株式会社アインホールディングス 医薬運営統括本部 地域連携部 山口 俊司
薬剤師が知っておきたい緩和ケアの基礎知識

大阪医科薬科大学 薬学部 神林 祐子

ランチョンセミナー 3 **12:00～13:00**

座長：名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 宮崎 雅之

LS3-1 抗がん薬曝露の発生源はどこか？ ～調製、投与、排泄の視点から～

愛知県がんセンター 薬剤部 前田 章光

LS3-2 抗がん薬曝露は拡散するのか？ ～過去、現在、未来の視点から～

伊勢赤十字病院 薬剤部 三宅 知宏

共催：東和薬品株式会社

Basic セミナー（がん超入門セミナー） 3 **13:45～14:15**

座長：国立病院機構 東広島医療センター 小暮 友毅

肺がん薬物療法の基礎知識

徳島赤十字病院 薬剤部 組橋 由記

Basic セミナー（がん超入門セミナー） 4 **14:15～14:45**

座長：鹿児島市立病院 薬剤部 有馬 純子

胃癌治療における薬学的介入

福岡大学筑紫病院 柿本 秀樹

シンポジウム 5

14:30～16:00

経口抗がん薬に対する薬剤師外来に必要なチームマネジメントと薬剤師のスキル

オーガナイザー・座長：大垣市民病院 薬剤部 吉村 知哲
福岡大学病院 薬剤部 / 福岡大学 薬学部 松尾 宏一

- S5-1 経口抗がん薬は、なぜチームマネジメントが必要か
がん研有明病院 川上 和宜
- S5-2 薬剤師外来業務が辛く苦しい時、成果をカタチに残してみよう
埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 藤堂 真紀
- S5-3 服薬アドヒアランス向上に必要な薬剤師のスキル
大垣市民病院 薬剤部 郷 真貴子
- S5-4 副作用マネジメントを成功させる薬剤師のアプローチ
徳島赤十字病院 薬剤部 組橋 由記

イブニングセミナー 3

16:45～17:45

乳がん治療薬アベマシクリブを上手にマネジメントする工夫

～私たちのこれまでの経験を踏まえて～

座長：北海道がんセンター 薬剤部 医薬品情報管理室 高田 慎也

- EVS3-1
愛知県がんセンター 薬剤部 橋本 直弥
- EVS3-2
東北大学病院 薬剤部 押切 華映
共催：日本イーライリリー株式会社

第4会場 (1号館 4F レセプションホール)

シンポジウム 6

9:00～10:30

今こそがん患者のトータルサポートに薬剤師の力を！！

～がん疼痛緩和における薬剤師の介入について考える～

オーガナイザー・座長：一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院 薬剤部 小澤 有輝
 国立がん研究センター中央病院薬剤部 阿部健太郎

- S6-1 がん疼痛治療を効果的に行うための鎮痛薬に関する Tips
 一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院 薬剤部 小澤 有輝
- S6-2 患者に寄り添う疼痛アセスメントのコツ
 東京女子医科大学附属足立医療センター薬剤部／東京女子医科大学附属足立医療センター
 がん包括診療部外来化学療法室 伊東 俊雅
- S6-3 がん疼痛の非薬物療法およびケア ～転ばぬ先の杖として～
 国立がん研究センター中央病院薬剤部 阿部健太郎
- S6-4 外来通院患者における疼痛介入事例
 国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 薬剤科 佐伯 朋哉
- S6-5 在宅患者における疼痛介入事例
 のぞみの花クリニック 餅原 弘樹

ランチョンセミナー 4

12:00～13:00

座長：国立がん研究センター東病院 薬剤部 川崎 敏克

- LS4 切除不能胆道癌の新たな一次治療
 ～イミフィンジ+GC療法の適正使用と副作用マネジメント～
 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科 森實 千種
 共催：アストラゼネカ株式会社

シンポジウム 7

14:30～16:30

マウスモニタリングを始めよう～がん患者に必要な口腔ケア～

オーガナイザー：日本調剤 原爆病院前薬局

米良 千春

オーガナイザー・座長：福岡大学 薬学部

林 稔展

座長：株式会社アインホールディングス 医薬運営統括本部 地域連携部 山口 俊司

S7-1 口腔粘膜の基礎知識

愛知学院大学歯学部附属病院 口腔ケア外来 井村 英人

S7-2 After Covid-19 における歯科衛生士が行うがん薬物療法患者への口腔健康管理について～がん治療を口腔からサポートする～

がん・感染症センター都立駒込病院 池上由美子

S7-3 がん化学療法患者の口腔ケアに対する取り組み ～薬剤師としてできること～

新潟大学医歯学総合病院 薬剤部 吉田 謙介

S7-4 「がん」と共に生きる

～口腔ケアを通して見えてきた保険薬局が出来る患者支援～

日本調剤 原爆病院前薬局 米良 千春

共催：日本口腔ケア学会

イブニングセミナー 4

16:45～17:45

ISOPP スタンドアード 2022 と日本のガイドラインについて

演者／オーガナイザー：国立がん研究センター東病院

シーズ開発推進部 シーズ開発支援室／薬剤部 野村 久祥

EVS4-1

埼玉県立がんセンター 薬剤部 中山 季昭

EVS4-2

横浜南共済病院 薬剤科 橋口 宏司

共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

第5会場 (1号館 4F 会議室 141+142)

シンポジウム 8

9:00～10:30

地域で支えるがん薬物療法

～次世代の薬剤師へのがん薬物療法の教育を考える in Aichi～

オーガナイザー：日本調剤株式会社 日本調剤名大前薬局 鈴木 大介
座長：名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 宮崎 雅之
クオール薬局自由ヶ丘店 三星 勇輝

- S8-1 岡崎市の薬業連携の現状と課題 ～顔が見える付き合いを目指して～
岡崎市民病院 村井 宏通
- S8-2 専門医療機関連携薬局としての取り組みと今後の課題
日本調剤株式会社 日本調剤名大前薬局 鈴木 大介
- S8-3 がん化学療法に携わる薬剤師への教育と業務支援
～「消化器癌 Reference book」・「副作用がとけるツール」の作成を経て～
宏潤会 大同病院 薬剤部／愛知県病院薬剤師会 がん部会 小杉菜々子
- S8-4 薬剤師がきずく医療連携を考える 愛知県内病院と保険薬局の研修会企画
について
愛知県病院薬剤師会 がん部会 杉山 純子

教育セミナー 1

10:45～11:45

座長：名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 熊倉 康郎

- ES1 胆道癌におけるゲノム医療/プレジジョンメディシン
慶應義塾大学 医学部 腫瘍センター ゲノム医療ユニット 林 秀幸
共催：インサイト・バイオサイエンス・ジャパン合同会社

ランチョンセミナー 5

12:00～13:00

座長：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 薬剤部 木全 司

- LS5 多発性骨髄腫治療の進歩
名古屋市立大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学分野 飯田 真介
共催：第一三共エスファ株式会社

教育セミナー 2

13:15~14:15

座長：国立がん研究センター東病院 薬剤部 松井 礼子

ES2 明日から提案できる支持療法— CINV と CIPN —

自治医科大学附属病院 薬剤部 奥田 泰考

共催：東和薬品株式会社

シンポジウム 9

14:30~16:30

薬剤師目線での irAE 対策 ～地域医療連携を通じてできること、すべきこと～

オーガナイザー：聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 湊川 紘子

オーガナイザー・座長：国立がん研究センター東病院薬剤部 川澄 賢司

座長：新潟県立がんセンター新潟病院 薬剤部 吉野 真樹

S9-1 Update of irAE management

新潟県立がんセンター新潟病院 薬剤部 吉野 真樹

S9-2 病院と保険薬局の目線を合わせる！ 地域を結び irAE 手引書

埼玉県立がんセンター 薬剤部 鈴木 貴之

S9-3 点を線に、保険薬剤師の irAE への介入と使命

日本調剤 九大前薬局 田中 智枝

S9-4 irAE の早期発見へ繋げるために～外来化学療法ホットラインの活用～

国立がん研究センター東病院 薬剤部 岩本 義弘

S9-5 新たなる irAE マネジメントの武器～ePRO を活用した患者モニタリング～

小松市民病院 桂 英之

イブニングセミナー 5

16:45~17:45

HER2 陽性転移・再発乳癌の薬物療法と副作用マネジメント

座長：独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究企画管理部 研究管理室 井上 裕貴

EVS5-1 安全ながん薬物療法の運用を目指した取り組み

慶應義塾大学病院 薬剤部 櫻井 洋臣

EVS5-2 HER2 陽性転移・再発乳がんの薬物療法

～乳癌診療ガイドライン 2022 の話題を中心に～

三重大学医学部附属病院 がんセンター 石原 幹也

共催：第一三共株式会社

第6会場 (3号館 3F 国際会議室)

シンポジウム 10

9:00～10:30

薬剤師が担う精神心理的ケア～患者さんの”つらさ”にどう対応するか～

オーガナイザー・座長：医療法人輝山会 輝山会記念病院 薬剤部 田中 康裕
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 薬剤科 佐伯 朋哉

S10-1 患者の“つらさ”を取るには？～薬剤師の視点から～
日本調剤株式会社 原田 寿

S10-2 がん患者の怒り～患者心理を理解して適切に対応するために
がん研有明病院 清水 研

S10-3 臨床心理士/公認心理師の視点～患者の心理状況の変化と対応方法も交えて
東北福祉大学 総合福祉学部福祉心理学科 武村 尊生

ランチョンセミナー 6

12:00～13:00

座長：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 薬剤部 調剤臨床業務課 榎原 秀之

LS6 行動経済学で考える診察室の中の会話
どうして医師はそんな治療をするのか、患者はその治療を希望するのか
佐久総合病院佐久医療センター 腫瘍内科 長瀬 通隆
共催：日本調剤株式会社

シンポジウム 11

14:30～16:30

薬剤師臨床研究の Tips, tricks and traps

オーガナイザー：国立がん研究センター東病院 シーズ開発推進部 シーズ開発支援室 野村 久祥
オーガナイザー・座長：静岡県立大学 薬学部 辻 大樹
座長：ソーシャルユニバーシティ薬剤師生涯学習センター 今給黎明彦

S11-1 ストーリーをつなぐ！明日からの臨床研究
埼玉県立がんセンター 武井 大輔

S11-2 臨床研究実施時の障壁と乗り越えるコツ ～後ろ向き研究を例に～
がん研究会有明病院 薬剤部 横川 貴志

S11-3 薬局薬剤師からのエビデンスの発信 ～取り組むべき課題と注意点～
株式会社アインホールディングス 医療連携学術部 月岡 良太

S11-4 臨床研究実施時の巻き込み力が研究の質を左右する-現在進行形の地域全体
研究の進捗をふまえて-
一般社団法人くすりmate 石塚 友一

S11-5 「あなたの作ったそのアンケート、いったい何の意味がありますか？」
Kaizen を志向したアンケート調査を実施しよう！

帝京平成大学 薬学部 濃沼 政美

イブニングセミナー 6

16:45～17:45

座長：福岡大学 薬学部 臨床薬学教室 林 稔展

EVS6 今一度押さえておきたい制吐療法のエビデンス、化学療法から緩和医療まで
国際医療福祉大学病院／国際医療福祉大学 薬学部 佐藤 淳也

共催：大鵬薬品工業株式会社

第7会場 (4号館 3F 会議室 431+432)

一般演題(口演) 1 調剤・処方監査・リスクマネジメント 1 9:00～10:24

座長：国立がん研究センター東病院 薬剤部 佐野 慶行
愛知県がんセンター 薬剤部 前田 章光

○-1 閉鎖式薬物移注システム(ケモセーフロック™システム)使用がシスプラチン
調製に与える影響

国立病院機構九州医療センター 薬剤部 大橋 邦央

○-2 がんセンターにおけるがん患者指導管理料ハの算定に対する取り組み

兵庫県立がんセンター 薬剤部 山内紗綾香

○-3 バイアル製剤の分割調製を目指した、模擬バイアルによる複数回針刺しでの
長期無菌性条件の検討

旭川医科大学病院 薬剤部 新田悠一郎

○-4 抗がん薬投与管理における職業性曝露に関する意識調査

沖縄赤十字病院薬剤部／国立病院機構沖縄病院臨床研究部 鈴木 寛人

○-5 抗がん薬投与管理に関わる看護師及び周囲の作業環境における抗がん薬汚染調査

愛知県がんセンター 臨床薬剤部 曾根裕美子

○-6 PBPM を活用した全抗がん剤での治療終了後患者における B 型肝炎再活性化
対策の構築と有効性評価について

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 鈴木 雅人

○-7 免疫チェックポイント阻害薬治療患者における外来化学療法ホットライン
への相談内容の実態調査

国立がん研究センター東病院 薬剤部 岩本 義弘

ランチョンセミナー 7

12:00～13:00

今こそ多職種で考えよう！がん患者のアピアランスケア
～国立がん研究センター中央病院での取り組みを踏まえて～

座長：国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科 山崎 直也
群馬県立がんセンター 薬剤部 藤田行代志

LS7-1 アピアランスケアガイドライン 2021 年版～分子標的薬による皮膚障害を中心として

福岡大学 医学部 皮膚科学教室 筒井 啓太

LS7-2 アピアランスケアへの薬剤師のかかわり～免疫チェックポイント阻害薬を含めて～

国立がん研究センター中央病院 薬剤部 久保 晶子

LS7-3 アピアランスケアにおける看護師の役割

国立がん研究センター中央病院 看護部 柳 朝子

共催：サンファーマ株式会社

優秀演題 1

14:30～15:30

座長：伊勢赤十字病院 薬剤部 三宅 知宏
株式会社ナカジマ薬局 谷口 亮央

O-8 ASCT 併用 L-PAM 大量療法を行う多発性骨髄腫患者の嘔気・嘔吐に対するオランザピン併用制吐療法の有効性

日本赤十字社医療センター 薬剤部 加藤 淳平

O-9 免疫チェックポイント阻害薬単剤療法における免疫関連有害事象発現と栄養学的指標（PNI）の関連

佐賀大学医学部附属病院 薬剤部 古野 龍也

O-10 高齢大腸がん患者における重篤な副作用予測ツール CARG score の有用性の検討

社会医療法人生長会府中病院 富士谷昌典

O-11 遠隔転移膵癌患者のゲムシタピン薬効発現に関する遺伝子多型解析研究 (GENESECT 試験)

住友別子病院薬剤部 矢野 琢也

O-12 ベネトクラクス錠の破砕投与が血中濃度上昇に影響した 1 例

明治薬科大学薬学教育センター治療評価学研究室 丸藤 義翔

優秀演題 2

15:35～16:35

座長：東京薬科大学 薬学部 臨床薬理学教室 鈴木 賢一
クオール株式会社 クオールアカデミー・教育研修本部 長沼 未加

- 13 転移性腎細胞癌薬物治療に対する患者と医療従事者間の選好や懸念の相違を調査する横断的観察研究－患者・薬剤師間を中心として－
日本医科大学付属病院 薬剤部/化学療法科 輪湖 哲也
- 14 がん患者におけるミロガバリン及びプレガバリン投与時の 副作用発現に関する後方視的比較検討
わかさ薬局 東静岡店/静岡県立静岡がんセンター 薬剤部 島谷 良太
- 15 甲状腺癌に対するレンパチニブの治療早期での血圧制御と用量強度との関連
伊藤病院 診療技術部 薬剤室 塩谷 純子
- 16 免疫チェックポイント阻害薬投与患者の好中球リンパ球比による層別化とプロトンポンプ阻害薬の併用による生命予後への影響
奈良県総合医療センター 薬剤部 堀 智貴
- 17 甲状腺がん Lenvatinib 療法における蛋白尿が腎機能に与える影響についての検討
国立がん研究センター東病院 渋谷 悠真

イブニングセミナー 7

16:45～17:45

座長：がん研有明病院 山口 正和

EVS7 チーム医療 ～薬剤師に期待すること、伝えたいこと～

国立病院機構渋川医療センター 松本 守生

共催：シンバイオ製薬株式会社

第 8 会場 (1 号館 3F 会議室 131+132)

一般演題(口演) 2 地域・在宅医療・その他

9:00～10:24

座長：岡山大学病院 薬剤部 楨枝 大貴
クオール株式会社 田島 亮

- 18 薬局で注射抗がん剤調製から投与後フォローまで行った事例
新生堂薬局中尾店 飯盛 弘康
- 19 外来化学療法の連携充実加算に関する取り組みについての病院薬剤師アンケート調査～業務負担、副作用聴取、薬剤指導への影響～
岩手医科大学付属病院 齋藤 一樹

- O-20 専門医療機関連携薬局が1年間に行ったがん治療に対する薬学的介入の実態調査について
総合メディカル株式会社 そうごう薬局 天神中央店 本田 雅志
- O-21 生産年齢人口の関節リウマチ患者における悪性腫瘍の発現リスクの評価：大規模保険請求情報を用いた後方視的検討
京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野 冢瀬 諒
- O-22 アブラキサン®の供給不足に対する DVO (Drug Vial Optimization)導入実績
札幌医科大学附属病院 薬剤部 深田 英嗣
- O-23 抗がん剤治療への薬剤師の介入成果～医療安全・経済効果・看護師の意識変化～
中津市立中津市民病院 診療部 薬剤科 上ノ段友里
- O-24 患者とかかりつけ薬剤師におけるがんの予防と治療に役立つ情報とツールの作成について
野村薬局/日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 薬剤部 野村 浩夫

ランチョンセミナー 8

12:00～13:00

座長：国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 シーズ開発支援室/薬剤部 野村 久祥

- LS8 やるなら今！「個の力」を「組織の力」へ
～激動の時代を勝ち抜くための薬剤師教育～

横浜薬科大学 実務実習センター 鈴木 高弘

共催：ファイザー株式会社

一般演題(口演) 3 がん薬物療法 1

14:30～15:30

座長：名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 宮崎 雅之

座長：日本調剤 柏の葉公園薬局 川崎 祐介

- O-25 フィルグラスチム過敏症の経験後にレノグラスチムの投与を行った一例
神戸医療センター 薬剤部 塚本名奈子
- O-26 オンライン服薬指導により抗悪性腫瘍剤の副作用を軽減できた症例
日本調剤株式会社 宮城野原薬局 洞口 信貴
- O-27 血液透析中の小細胞肺がん患者に対する CBDCA+ VP-16+Atezo 療法の至適投与量を検討した一例
東京ベイ・浦安市川医療センター 医療技術部 薬剤室 稲毛 慶子

- 28 初発卵巣がん患者の効果予測因子としてのベパシズマブ関連有害事象に関する多施設共同後ろ向き研究

小樽市立病院薬剤部 伊佐治麻里子

- 29 ベンダムスチン 10 分投与法の導入が悪心・嘔吐発現に与える影響

横浜市立大学附属病院 坂本 靖宣

一般演題(口演) 4 調剤・処方監査・リスクマネジメント 2 15:35~16:35

座長：国立病院機構小倉医療センター 薬剤部 牧 陽介

株式会社インファーマシーズ 北関東支店 金谷 法好

- 30 免疫チェックポイント阻害剤使用時の適正な臨床検査実施への取り組み

大阪府済生会野江病院 薬剤科 永井 大地

- 31 外来がん化学療法施行患者における体重測定日と処方変更に関する実態調査

長崎国際大学 薬学部 中原 紅葉

- 32 PBPM を利用した薬剤師によるがん化学療法施行患者への HBV スクリーニングの効果

南和歌山医療センター 東垂水郁圭

- 33 抗がん剤の未変化体排泄物暴露に対する 200ppm 次亜塩素酸水を使用した系統的暴露対策研究

東京女子医科大学附属足立医療センター薬剤部/東京女子医科大学附属足立医療センター
がん包括診療部外来化学療法室 伊東 俊雅

- 34 オンライン服薬指導へ薬剤師として貢献できること -患者の満足度向上に寄与する因子の探求- 第 2 報

日本調剤株式会社 日本調剤名大前薬局 鈴木 大介

イブニングセミナー 8

16:45~17:45

患者を中心としたがん薬物治療の実現と副作用軽減に向けて

座長：国立がん研究センター中央病院 薬剤部 橋本 浩伸

- EVS8-1 がん薬物治療に対する患者の希望と薬剤師の役割

日本医科大学付属病院 薬剤部 輪湖 哲也

- EVS8-2 レンバチニブ長期服用に対する効果的な薬薬連携
～TEL フォローアップの重要性～

久留米大学病院 薬剤部 津村 紗代

共催：エーザイ株式会社